

夢もっとよひるがね

4 

発行・編集
いぶき福祉会後援会

〒502-0907
岐阜市島新町5番9号
TEL. 058-233-7445
FAX. 058-232-9140
E-mail. ibuki@alto.ocn.ne.jp

2018年 4月20日発行

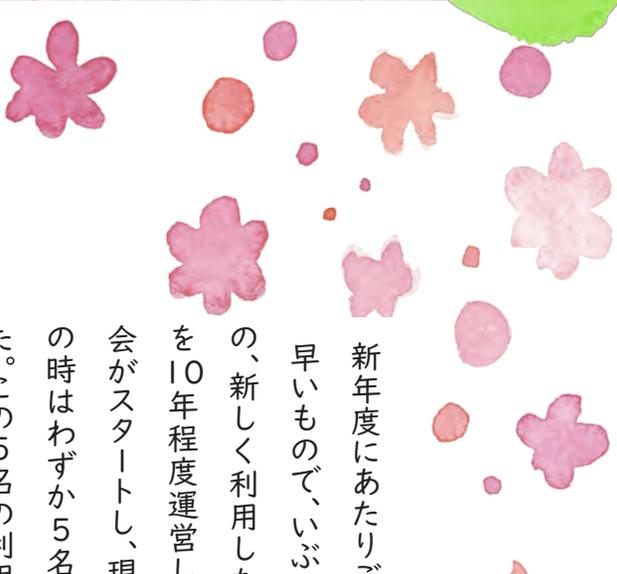


新年度を迎えました。

- もくじ
- 2 後援会会長挨拶
 - 3 シリーズ私と娘といぶきと
 - 4 1 5 成人と還暦を祝う会報告
 - 6 1 7 後援会学習会・後援会総会開催のご案内
 - 8 1 9 いぶき仲間のすがた
 - 10 1 13 座談会
 - 14 新入職員紹介
 - 15 いぶきまつり告知・情報掲示板
 - 16 情報掲示板

例年よりも早く開いたサクラ。一日でも長くもってほしいという願いが届いたのか、新しくいぶき福祉会の一員となった仲間と職員を満開の桜の下で迎えることができました。ひとりひとりの願いがゆっくりゆっくり花開くように、一日一日を丁寧にすごしていきたいと思います。今年度もどうぞよろしくお願いたします。

2018
Spring
Vol.194



新年度にあたりご挨拶申し上げます。

早いもので、いぶき福祉社会が発足してから23年になります。岐阜市には公立の施設はあったものの、新しく利用したいと思う障害者を受け入れる所はなく、やむを得なく無認可の小規模作業所を10年程度運営しながら、法人の福祉施設の開所をめざし活動を続けてきました。23年前に福祉会がスタートし、現在は142名の利用者として60名の職員の大きな施設になり、小規模作業所の時はわずか5名の利用者だったことを振り返れば、考えられないほどの大きな組織になりました。この5名の利用者のうち1名は昨年残念ながら他界されましたが、他の方々（最高齢は81歳）はいまも“いぶき”で活動されています。また、保護者もこの30年を経て他界されてしまった方もいます。月日の経つのは早いものですが、無認可時代より30年を経てその時々にかかえなければならぬ課題も生まれています。

新しく入所したいと希望する人達を受け入れられる施設や、グループホームの拡充、利用者の自立できる給料が保障できる仕事。生き生きと活動できる場など、利用者がいぶきを利用して良かったと思ってもらえるよう後援会も活動していきたいと思えます。

また、これらはいぶき福祉会だけでは成し遂げることはできません。皆さまの更なるご支援とご協力を宜しくお願い致します。

いぶき福祉会後援会会長

横幕 嘉行



シリーズ 私と娘といづむと



1996年2月5日、予定していた自然分娩の立ち会いではなく、まさかの帝王切開の同意サイン。お腹の中で仮死状態との報告があり心配して待機場所で待っていると、無事に何事もなく可愛い彩那が産まれてきた...と思っていた。その2日後、ミルクを飲んだあと泣き方がおかしいと、愛知県コロナ



1へ転院。訳が分からずコロナへ向かい、そこで目にしたものは見るに耐えられない彩那の腹膜透析姿...。その後点頭てんかんと診断され、父と母と彩那3人の闘病生活が始まりました。今では考えられないが、目も合わさない、笑う事も出来ない、ミルクも自分で飲めない、「この子は、いつまで生きられるのだろう」とそう思っていた。

この状況を大きく変えたのは、ACTH(ステロイド療法)治療中の1歳誕生日にみせたはじめての笑い、その奇跡的な出来事が家族皆を元気にして、今の岩本家があると感じます。

それから何回かのACTH治療を行い、少しずつ発作の頻度が減り、緩やかではあるが出来る事も増えてきました。身体の反りはあるが、流動食が食べられるようになったり、沢山笑うようになったりと幾分気持ちが落ち着くようになったが、なかなか発作が無くならない。

長い闘病生活のなか長男が産まれ、その長男が1歳の頃、彩那は4歳手前に、身体の負担を考え最後のACTH治療(5回目)と決めた入院



で、信じられなかったが奇跡的に発作が止まり感動した事を思い出します。その後、ご飯をモリモリ食べられるようになった事で外食にもチャレンジしたり、河原へキャンプ風な過ごし方をしてみた。発作が止まったとはいえず、いつ発するか分からない状態です。スクはあつたが、今まで見られなかった外の世界を沢山見せたという思いで沢山出掛けました。

暖かい時期は毎月キャンプに出掛け、FC岐阜のホームゲーム時はサッカー観戦を、寒い時期はソリを、そして2年に1回はディズニールゾートへ、そんな沢山の遊びが出来た事に感謝。外へ出掛けると遊びの楽しさだけでなく、彩那にとって素敵な出会いや

機会も沢山ありました。保育園時の彩那に沢山の希望を授けてくれた加配の先生やお友達、楽しい12年間の学校生活を共にしてくれた特別支援学校の先生たち、小学校の頃から入所したいと願っていた、それを叶わせてくれた第一いづむ。いつまで生きられるかと心配していた彩那が、成人式を迎える事が出来て、そして今、毎日第二いづむの皆と楽しく仕事が出来ている事が本当に嬉しい。「これからも、素敵な出会いや機会を沢山して、充実した毎日であるといね。」



岩本成奥

仲間のすがた 成人と還暦を祝う会



今年度西部事業部では、5名が成人を迎え、1名が還暦を迎えられました。
成人は、いぶき・あかねの藤井日南子さん、サテライト・ハローの老田晴香さん、きざはしの塩谷良輔さん、高木俊介さん、辻誠也さん。
還暦はゆめひろの神谷



高木俊介さん



老田晴香さん



藤井日南子さん

はるみさんです。
1月20日、日光コミュニケーションセンターにて、

保護者の方々、来賓の方々をお迎えし、成人・還暦を祝う会が開催されました。
成人の皆さんは来賓の方々とは久しぶりの再会をされ、学生時代の事を昨日のこの様に笑顔でお話されたり、立派に成長した姿を見て涙を浮かべられる場面もありました。
晴れ着姿で入場した成人の皆さん。少し緊張した表情で会場に入場すると、会場の皆さま



塩谷良輔さん



辻誠也さん

「んから大きな拍手と「おおー！」という声に迎えられるました。その拍手の中を堂々と歩き、会が始まりました。
新成人を紹介する生い立ちビデオが流れると、スクリーンを興味深く見つめていました。会場からは「かわいい〜！」「小さいね〜！」といった声がたくさんあがりました。先生や友達との思い出、家族との時間楽しかったこと辛かったこと…。色々な場面が記憶に蘇ってきたのではないのでしょうか。ご家族、来賓の方々にも笑いや涙をされる場面も見られました。新成人の皆さんを昔から支えてくれた方々もまた、様々な思いが込み上げてきたのでしょうか。保護者様同士、ご来賓の方々同士で「うんうん」と相槌をうちながらご覧頂いていました。
続いて恩師の方々よ

ら、お祝いの言葉を頂戴しました。新成人にとっても、お世話になった方々と久しぶりに再会し、お話を聞くことができました。とても嬉しかったのではないかと思います。
新成人より保護者の



りご祝辞を頂きました。「立派になられましたね」「これからも応援しています」「今度はお酒を飲みながらお話ししたいですね」など、学生時代の話や今後の大人同士付き合いもしたい、などの話も織り交ぜながら



方々へ感謝の気持ちを込めて、花束を贈呈しました。「ありがとう」と元気に話す仲間、言葉は出なくても、頭をペコリと下げて花束を渡す仲間。それぞれのかたちで感謝の思いを伝えました。少し照れくさそうでも、その中にもしっかりと気持ちのこもったとても素敵な一幕でした。

保護者の方々からも立派に成長した我が子



神谷はるみさん

や会場の方々へ向けのご挨拶を頂きました。あんなに小さかったのに、本当にたくさんの方に支えていただきましたね、立派に成長したね、と、涙されながらお話しされました。保護者の方にしか分からない我が子の成長、ご苦労、様々な思いや感謝の気持ち。私たちも、ご本人の気持ちはもちろん、ご家族の方々の思いも背負いながら日々の支援に取り組んでいきたいと思いました。

続いて、還暦を祝う

会へ移りました。ゆめひ



ろに所属する神谷はるみさん。お祝いのビデオでは日々仕事を頑張る姿や、いつも一緒にいる仲間と旅行や外出を楽しむ姿などが紹介され、みんなで笑いながら楽しく観覧しました。チー

ムのみなさんと仕事や活動に取り組む姿はとても楽しそうで、私たちも自然と笑顔になり、会場はとても暖かい雰

囲気に包まれました。神谷さんから「こんな式を開いてくださって、ありがとうございます。これからも頑張ります」と、緊張しながらも力強く挨拶され、会場からは大きな拍手が送られました。最後に、成人・還暦を迎えられた皆様、改めておめでとうございます。これまで歩んできた人生、それぞれ様々な思い出があったと思います。今後も想像できない様なことがたくさん待っていると、思います。いぶきの仲間、スタッフと一緒にみんな楽しんで毎日を過ごせることを誇りに思います。これからも末永くよろしくお願ひします。

加藤裕一朗



後援会学習会

その2

後援会にかかわる人たちと後援会活動を見直し、より活発にして、地域の活動として位置づいていくように事務局会にコープぎふの辻さんとFC岐阜の林さんにお越しいただきました。(2017年10月)

前回に引き続き、今号ではFC岐阜の林さんにご講演いただいた内容を一部抜粋してお届けしたいと思います。



FC岐阜 ホームタウン課
林 幹広さん

生協の辻さんはつながらずということをおっしゃっていました。私がタッチポイントはこれにタッチポイントといっていて、タッチポイントを大切にしています。FC岐阜での取り組みについてお話しします。

FC岐阜がJ2に昇格して10年になります。私は、岐阜県瑞穂市出身で小さい頃からサッカー

ーをしていました。名古屋グランパスのスタッフになって、2008年にFC岐阜がJ2に上がるときに転職をしました。私がグランパスで働いていた時もまさか岐阜にプロチームができるなんて思ってもみませんでした。ずっとサッカーに携わってきてこの道で何か地元に戻りたいという気持ちもありました。

FC岐阜は「子どもたちに夢を!!」「感動

を共に」という理念があります。当初は「子どもたちに夢を!!」のみでしたが、みんなが話し合い「感動を共に」を追加しました。

ビジョンではスタジアムで非日常を作り出すことを掲げています。そしてミッションが3つあります。当初理念しかなかったのが、2年くらいかけてスタッフとともに作り出した。

そもそもFC岐阜は「スポーツの力で地域を活性化したい」と2001年に設立されて、当初は小さいチームでしたが、地域リーグから上がっていき、現在は選手27名、ホームゲームの観客が平均7000人、今年は観客10000人を超える試合が3試合もできるようになっていきます。

チームの特色は自治体とのつながりが強く親会社を持たないチームです。42市町村にスポンサーになっていて、本当に地域に支えられているチームです。また、ホームタウン活動という地域貢献活動を年間596回行っています。その中で当初60社程度だったスポンサーも現在220社程度になっています。

現在Jリーグに入ってから10周年ということで記念の企画を行います。これは、ファンや



スポンサーに感謝を伝える目的があります。ご存知の通りFC岐阜はつづれそうなきは度度もありました。それを乗り越えてきて現在があります。原点にかえる、見つめなおす意味もあります。また、クラブの歴史を新しいスタッフに伝えるという意味もあります。当初3400人程度の集客でしたが名岐ダービーではクラブ過去最高の17027人を集客できました。

ホームタウン活動は「真のファンづくり」という位置づけで様々なことを行っています。サッカー教室やかけっこ教室などサッカーだけではなく動くことの楽しさを教えたりしています。プロモーション活動というのは宣伝・広告という言葉ですが、



FC岐阜ではファンに知ってもらい、来てもらうという位置づけで考えています。かつてはホームタウン活動を若い職員が本心に頑張って500回やってましたが、今年から数だけでなく2つの軸をつくり取り組んでいます。一つは「地域と一緒にプロモーション」もう一つは「ファンづくり」です。

子どもたちに夢をという巡回サッカー教室ではサッカーをあまりやりません。ボール遊び中心で運動を好きになつてもらいます。キャラバンでは高齢者にゲームなど簡単な運動を22の施設を各3回まわります。「80年ぶりにボールを触った」という感想を聞くとやった意味があるなと思います。またおじやマッスルと言つて幼稚園・保育園



を回る活動があります。幼稚園児は動くことが好きなのでボールに触れあつてもらいます。サッカークリニックとつてサッカーチームにプロのコーチが指導に行くこともありま

す。一回限りの取り組みを回す活動があります。幼稚園児は動くことが好きなのでボールに触れあつてもらいます。サッカークリニックとつてサッカーチームにプロのコーチが指導に行くこともありま

ツ文化」などの講座もやります。こうしたホームタウン活動は、年間を通して3万〜3万5千人の人と触れ合うことができます。つながり、タッチポイントをつくっていくことでファンづくりになつていきます。私たちはこのように地域に出ていくことでつながりを作ります。タッチポイントを使ったマーケティングではつながりを通じて地域に愛されることを地道に行っています。こうした取り組みを通じて、少しずつFC岐阜も大きくなつていきます。大きくなることでの変化もあります。感謝の心が大切だと思つています。



いぶき福社会後援会総会のご案内

平素は、いぶき福社会の活動にご理解とご支援を賜わり、厚く御礼申し上げます。さて、2018年度後援会総会及び学習会を下記の通り開催いたします。ご多用の折とは存じますが、万障お繰り合わせの上、是非ともご出席くださいますようお願い申し上げます。

日時 2018年6月30日（土）9：45開場 12：30終了予定

①後援会総会 10：00～

②学習会 11：00～ 「いぶきの仲間の未来の支え方」

成年後見、信託、遺言など少しリアルなお金の話もしてみませんか

場所 岐阜市北部コミュニティセンター大集会室



いぶき 仲間のすがた

須藤佳代子さん

サテライトいぶき 原 哲治

須藤佳代子さんは、サテライト・ハローの部屋の仲間です。サテライトでは、いつも明るい笑顔で昨日見たテレビドラマの話や大好きな嵐の話を楽しそうにしてくれます。そんな須藤さんですが、2年くらい前までは、家族としか

話ができませんでした。サテライトでは、ずっと声を出して話をするのができず、職員との話にうなずいたり、首を振ったりして、答えるだけでした。場面かん黙のため、家族やごく親しい人以外とは、幼い頃から話すことができない

かつたのです。

須藤さんが話ができるようになったのには、ある転機がありました。二年前にグループホームに入居することになったのです。週末は自宅へ帰りますが、家族と会える時間が少なくなると、誰とも会話できなくなつて辛いのではないかと心配しました。

ホームに入居してしばらくした時、サテライトで一番身近だった職員と二人だけの時にポツリポツリと話をしてくれるようになりました。また、昼休みに仲間たちで新聞を見ながらテレビの話をしているときや、散歩に出かけるときに、「あー」とか「うー」という声や自分の気持ちや表情で伝えてくれるようになりまし



た。時には「嫌!」という気持ちも少しずつ声に出して伝えてくれることもありました。はじめは、日常では聞こえないくらいの小さな声だったのがだんだん大きくなつてきました。きつとその頃、須藤さんの中で自分も思いを声に出して伝えたい!という気持ちが強くなつてきていたのだと思います。

その頃の須藤さんは、二人の時の方が話しをしやすいようでした。た

くさんの人の前では声を出すのに緊張してしまふようです。そこで、須藤さんにサテライトのお昼ご飯の配膳当番を職員とペアで毎日お願いすることにしました。須藤さんは役割を持つと責任を持って毎日忘れずにやってくれます。職員との二人の時間はいつもよりちよつとりラックスするようで時々声が出てきます。配膳をしてみんなの役に立つことも須藤さんの自信になります。

昼食の後は、テーブルに新聞を広げテレビ欄を見ながら、好きなテレビドラマや歌番組の話や仲良しの女性同士の仲間や職員とします。好きな嵐の話やお気に入りの職員の話題になるといつもより





大きな声が出てきました。そのうちにこれまで緊張してお話できなかったことがウソのようにたくさんの話をしてくれるようになりました。もともと表情や身振りが豊かで明るい須藤さんのお話はとても楽しくて、昼休みに須藤さんとみんなで会話をするのが職員にとってとても楽しみな時間になりました。これまでずっと聴いたことがなかった須藤さんの声を職員もみんなとても聴きたかったです。

など話してくれます。新しく入った仲間にもハロ―バッグの仕事のやり方を教えたり、他のかん黙の仲間のことを須藤さんに相談すると「友達になればお話しできるよ」とアドバイスしてくれたりしました。



これまでではまわりの仲間たちの様子を見ていただけでしたが、仲間たちいろいろな話をしてくれるようになったことで、サテライトの中では、頼れるお姉さんとしての存在感が増してきたように感じます。

地域支援部より

金子彰子

私と須藤さんとの出会いは、2002年の夏、うずら共同作業所の時です。この年は、2003年のきょうされん全国大会の宣伝活動のためにキャラバン隊を組み、仲間も職員もロックソランを猛練習して、近隣の作業所や小学校をPRして回っていました。長半纏をひるがえして、須藤さんが真剣に踊る写真が残っています。2003年の大会当日、うずらにいた7人の仲間たちと、岐阜アリーナいっぱい集まった皆さんと踊りました。何度も何度もアッコールがかかり、

力のかぎり踊り抜いた後の爽快感は格別でした。

そんな須藤さんが、私が担当するグループホームを利用するようになったのは、二年前のことです。うずらでは「お父さんとお母さんはずっと死なないんだから、ずっと一緒にいる」と家族に話していた記憶があります。

数年前までの須藤さんは、家族以外の人とお話をする姿を見た人はいませんでした。今では、職員と冗談を言ってはしゃぎ、誰よりもお話をする須藤さんの姿があります。一人の職員と少し話ただけだったのが、須藤さんの中にある「話したい」という意欲を、周りが受け止め、一挙一動に注目しすぎることで

なく、リラックスできる環境づくりに心掛けて今の姿があるのではないかと思えます。

自分の言葉で語れるようになった須藤さんに、サテライトの職員がインタビューをしました。「サテライトで去年お話しなかった時と今ではお話しやすくなったのはなぜだと思いますか？」という問いに「私が変わった。寮(グループホーム)も入ったから変わったんだろう」と力強く答えました。この強い決意に満ちた言葉には胸が熱くなりました。自分の意志を持って、人生をしっかりと歩む須藤さん。この先もきつと多くの人との素晴らしい出会いが待っていることでしょう。

座談会

「なかまの想い、ねがい」

第二いぶきの仲間4名と職員1名で
和気あいあいの座談会をひらきました。

参加メンバー



Aさん:なかま



Bさん:なかま



Cさん:なかま



Dさん:なかま



藤井:職員

藤井…今日は、みんなが
思う、日ごろ感じてい
ることを教えてください。
自分が感じることも、
周りの人が感じている
と思うことでもいいで
す。

藤井…今日は、みんなが
思う、日ごろ感じてい
ることを教えてください。
自分が感じることも、
周りの人が感じている
と思うことでもいいで
す。

Aさん…わたしも、コロ
コロかわると最初は戸惑
っていた気がする。

藤井…Cさんはお願
いする仕事はパソコンば
かりになってしまっ
うですか。最近フ
イェスブックとかも
お願いしている
けど。

Cさん…まあ、いいん
じやないかなと思
う。

藤井…Bさんはカ
ッター(※1)が多い
けど。大丈夫？

Bさん…やっぱりカ
ッターがいいかな。マ
カポン(※2)は大き
いし長いので(やり
にくい)。やりやす
いのとやりにくい
のがある。

藤井…Aさんは
やり続けること
で、だいたい上手
になってきていま
すね。

Aさん…でも、慣
れるまでが悪い
んだよ。

藤井…昔は全
員でパソコンの
仕事をしていた
けど、今はお互
い違う仕事を

をしてもらっ
ているけどどう
ですか？

Cさん…いいん
だけども、ほか
の人がやって
いるあんな
仕事やってみ
たいなと思
うことがある。

Dさん…私は、
気にはな
るけど、うー
ん頑張っ
ているな
あと思
うだけ
かな。

Bさん…考
えるとあ
んな仕事
をしてみ
たいとい
うときも
ある。

Aさん…私
は、グッ
ドドック(※3)
をやっ
ていて
きは、う
ちやまし
いなあ
と思
った。

Bさん…なん
で

Aさん…や
っぱり、
全部
しあ
げれる
ところ
でも
自分
が
でき
る
ところ
を
や
ろう
と思
っ
て
い
る。

Cさん…自
分は、
張り
子
だ
っ
た
ら
ど
う
や
っ
て
い
る
の
を
見
る
と
や
っ
て
み
たい
な
と
思
う。

藤井…なか
なか
私
た
ち
が
何
や
る
と
選
択
し
て
も

らう機会
がない
ですね。

Dさん…でも、
やるこ
とが
決
ま
っ
て
い
る
と
や
り
や
す
い。
私
は
3
種
類
く
ら
い
(や
る
こ
と
が)
あ
る
じ
ゃ
な
い。

藤井…選
択
肢
が
絞
ら
れ
て
い
る
と
や
り
や
す
い
と
い
う
こ
と
か
な。
D
さ
ん
は
い
く
つ
か
し
じ
ョ
ク
あ
る
け
ど、
C
さ
ん
の
場
合
は
パ
ソ
コ
ン
が
中
心
で
し
よ。
ま
あ
、
パ
ソ
コ
ン
の
中
に
も
い
ろ
い
ろ
の
内
容
は
あ
る
け
ど…

Cさん…そ
う
ね。
や
っ
ぱ
り、
張
り
子
と
か
カ
タ
ー
の
し
じ
ョ
ク
を
し
たい
と
い
う
の
は
あ
る。

Dさん…そ
う
、
張
り
子
だ
っ
た
ら
ど
う
や
っ
て
や
る
か
っ
て
考
え
る。

Cさん…僕
も
ね、
ど
う
や
っ
た
ら
で
き
る
の
か
っ
て
考
え
る
こ
と
が
あ
る。

Aさん…み
ん
な
で、
や
っ



てみたらって思うけど時間がない。

藤井.. そうね、でも、私たちが時間がないって言うてたらいいかね。

みんながやってみたいって思っているんだったら、時間を取ってきいてみて、試してみる時間が必要だね。

Dさん.. たしかに。うちらだけじゃなくてもチャレンジする場があるとい

Aさん.. この前、Eさんが、『納品じゃなくて』はりこ』やりたい』っていったことはすごいことだったと思う。

藤井.. 給料に関して何かありますか？

Cさん.. 上げてほしいっていうのはあるけど、売り上げもあるんで、わがまま言わないほうがいいかなって思う。

Dさん.. 夢がないなあ
〜笑〜

Aさん.. でも難しいよね。

Dさん.. たしかに、でも給料上げてほしいならそれなりの頑張りしないといかんね。

Aさん.. マカポンが売れてほしいな。アクティ

Dさん.. 張り子も売れてほしい。

Aさん.. ジャムとかコロボの商品とか全部売れてほしい。

Cさん.. フェイスブックやっていくけど、いろいろ難しいことがあるなあと思う。

藤井.. フェイスブックは

いぶきの商品を宣伝してくれている大切な道具だよ。

Aさん.. 昔は全体で文章の確認をしていたけど、今はCさんひとりにお願いしているから、こうしたらいいんじゃない

かというタイミングがない。

藤井.. 今は職員が誤字だけチェックしているけど、あとはCさんひとりで考えているから、作成過程とかみんなのアイデアが集まるといいね。

Aさん.. 私はマカポンの作っていることとか、張り子の試作品とか載せるといいと思う。

Cさん.. やっていることやあつたことなどをお知らせできる、ニュースみたいになるといいな。

〜いいね、いいね〜

Dさん.. フェイスブック

って見てくれている人だけだ。

Cさん.. うーん、細かい設定までは見れていないんだけど、結構、いいねしてくれている人はいる。

いぶきでやって、家に帰ってフェイスブック見るといいねしてくれている。ページシェアをたくさん

するので百々染(※5)とかほつぺ(※6)とかブランドページもいいねしてく

Dさん.. 最近、あんまりみてないな。ページに知らせがあるって聞くけど。

Bさん.. お知らせがあると、開くね。

藤井.. みんな、たくさんみてくれるといいね。たまにはみんな話してフェイスブックのことを話せるといいね。

Dさん.. 週一はおおいな月一回くらいで集まれるといいね

Dさん.. フェイスブック会。(だけじゃなくて、座談会いいね)

Bさん.. このメンバー

でね。4人だとぶつかることもあるから、職員も入ってもいいかな？

〜笑〜
藤井.. えー、そんなことある？でも、言い合いに

なっても意見を伝えあえるからいいんじゃないかな。

給料が上がったら何をしたい？

Dさん.. コンサート!!

Bさん.. コンサート!!

藤井.. そうね、でも今、行っているよね。お金、自分で払っているの？

Bさん.. チケット代はね、払っているよ。

Dさん.. もちろん。あと、グッズ代もね。

藤井.. グッズたくさん買ってるね。

Dさん.. だって、メンバーがたくさんいるんだもん。

〜笑〜
Cさん.. パソコン関係

かな。

Aさん.. お出かけとか、服とかかな。
Dさん.. 夢プロジェクト(※7)、私絶対要望したいって思ってた。Bさんとも話してた。

Bさん：そうそう
Aさん：それってどんなの？

Cさん：昔、僕、A J U 自立の家(愛知県にある自立生活をしているところ)に興味があつて、話して、職員に連れてってもらつた。

藤井：自分で行きたいところを職員に伝えて、お金は自腹で連れて行ってほしいってこと？

Bさん：移動支援みたいな感じ。
藤井：A J Uはどうだった？いぶきじゃなくて、そこで働いてみたいと思つた？

Cさん：勉強にはなつたけど、正直、どこでもいかなと思つた。
Cさん：仕事を見せてくれるところには変わらないと思つしね。

Dさん：私は、他の場所より、いぶきのほうがいい。

Aさん：やっぱりここで、給料をもらえるのがいい。

Cさん：そうね、仕事をやりきつて、それで給料をもらえるという達成感はあるね。

Dさん：そう、達成感、充実感が欲しい。

藤井：お出かけとか散歩とかずっと余暇活動よりかは。

Dさん：散歩とか楽しいこととかのみの生活もあるけど、今みたいに楽しいこともありつても、仕事があるのがいい。
藤井：夢プロジェクトって誰と行くの？

Dさん：自分で職員を選ぶの。私はコンサート
Bさん：私は学生さんとコンサートに行った。
藤井：昔は学生さんっていぶきと結構つなが

りがあつたの？

Dさん：結構、人が足りなくて言つて外出にきてくれた人とか。

藤井：いぶきまつりや夏まつりとかにボランティアさんたくさん来てくれてるけど普段はボランティアさんあまり来なくなつたね。

Aさん：私もそんなのがあつたらいいなと思う。
藤井：移動支援とは何が違うの？

Dさん：一緒だけど、ヘルパーさんと契約しなくちやいけない。

Bさん：一緒の気がする。けどヘルパーさんじゃない、いぶきの職員と行ける。

藤井：ヘルパーさんは契約しなくちやいけないから、お母さんにも手伝わってもらう必要があるよね。
あと、慣れるまでは気を

遣つね。仲良い、ヘルパーさんと行きたいですね。

Cさん：昔はボーナスが出るってみんなで買い物に行つていたけど。

Aさん：そんなときもあつたけど、みんな好みが違うから、私は個人的に行つたほうがいいかな。
藤井：それも、ヘルパーで行けるのかな？

Cさん：アマゾンで済ませちゃうかな。
Dさん：私も、結構ネット使つちゃうな。

Cさん：移動支援の話って誰に聞けばいいのかな。

藤井：ヘルパー事業所に聞いても、今の相談支援事業所に相談してもいいよ。

藤井：将来の夢や生活について考えていることありますか？
Dさん：お手伝いさんを雇つて、優雅な生活を

してみた。なんてね。

藤井：いづばい稼がないかね。

Aさん：私は、家族が私のことをできなくなつた時に、ここにこれになつてしまつた。

家でも働けたらと思うけど、何も考えられない。
Cさん：親もいつまでもというわけにはいかないもんね。

Aさん：だから、ショートとかヘルパー(移動支援)とか利用しているけど、現実、その先をどうにかというそういうところが無いから。

藤井：家まで送迎に行けたらちがう？

Aさん：うん、やっぱり両親にあんまり負担をかけてもというのもあるから、難しいとは思つけど送迎の幅が増えたり、ショートの回数が増えたりするのいいかな。



藤井：他の施設のシヨウトつてどんな感じなの？
Dさん：そこに入所している先輩がいる。
Cさん：僕も、知り合いがいる。
仕事の時間もあるみたいだけど、今みたいではなくなっちゃうかな。
Aさん：趣味の先生がきてくれて、教えてくれる時間もあるみたい。
でも、入所しちゃうと、移動支援が使えなくなっちゃう。ずっとそこにいる。
藤井：ヘルパー（身体介助）を使っている人はこのメンバーにはいないね。Bさんのところみたいになりフトがあつたりはあるけど。
Dさん：そう、私みにいった。すごいんだよね。
Aさん：私、24時間ヘルパーさんとかお願いして一人暮らししている人知っている。
Cさん：そう、24時間！

一人暮らし。すごいね。
Dさん：うん、すごいよね。
Dさん：ヘルパーさんて買い物も行ってくれるの？
Aさん：移動支援行って、そのまま一緒に過ごしてくれて、ご飯作ってくれたりもするのかな？
Cさん：僕の友達で結婚している人がいて、両方とも障害があるんだけど、買い物をしてくれて食事を作ってくれてるらしいよ。
Dさん：その人知ってる。
Cさん：ネットで僕より、障害が重い人が一人暮らししているって知ってるんかな苦労があるらしいし、親に反対されたりしたらしいけどがんばっているっていつのを知った。
Aさん：私も、呼吸器つけてるけど、24時間一人暮らししていて、しかも彼女がいるっていつのを知ってる。

Dさん：すごいなって思う。
Aさん：すごいなって思うけど、難しいなって思っちゃう。
Dさん：度胸がないと無理だね。
Cさん：やろうっていう気がないと。あつても、言うのとやるのは違うから。
Cさん：でも、お母さんがいなくなるとどうなるのかなという不安はある。困っている。
Dさん：みんなそうだよ。
Bさん：うん、うん
Aさん：うん。だから、信頼しているいぶきにお願いしたいという気持ちがある。やっぱり、甘えていけるわけではないけど、できないことあるかもしれないけど、お願いしたい。
Cさん：いぶきはつな

がりもあるしいろいろ教えてくれる。
やっぱり個人ではなかなかできない。市役所とかに行っても、あそこに行つて聞いてくれと言われてやってくれない。
Aさん：一応、しゃべれるけど、難しいことは不安になる。
藤井：相談支援もあるよね。
Cさん：僕はつかいぼう（岐阜市の相談支援事業所）の〇〇さん（相談員）がいろいろ相談にのってくれる。
Aさん：わたしは岐阜ヘルパー（岐阜市のヘルパー・相談支援事業所）の〇〇さん。
Bさん：まきさん（いぶきの相談員）
Dさん：相談つていぶきじゃないんだ。
Cさん：そうそう。希望で変えることもできるけど。ヘルパーでお世話

になつてるから。
藤井：相談の事業所や私たちも含めて、これからのことを日頃から話し合えるといいよね。
これからも、時間をとつて話し合えるといいよね。
Cさん：話した内容をフェイスブックであげたいな。僕たちがこんなことを考えているって知ってもらいたいって言うのもあるし。
Dさん：いいと思うよ。

※1 カッター…印字された商品帯を四角にロータリーカッターで切る仕事
※2 マカポン…『にじ』で作っているボン菓子の商品名
※3 グッドドック…※4 の張り子の種類
※4 張り子…粘土で作った方に紙をはって成型した置物
招き猫や犬などがある。
※5 百々染…『いろどり』で作っている染の商品ブランド
※6 ほっぺ…『ほっぺ』で作っているジャムの商品ブランド『りすのほっぺ』
※7 夢プロジェクト…第二いぶきが開所当初に行っていた個別のお出かけの取り組み。現在は行っていない。

第27回 いぶきふる内あいまつり

テーマ
この往デで
べっないで
夢よむろがれ

日時
2018年5月13日(日)
10:00~14:00

会場
山支阜市立島小学校・島公民館

*雨天の場合は体育館で開催いたします

おみせ

フランクフルト・やきそば
おにぎり・みたらし団子・カレー
うどん・衣料品・陶器など…

ステージ

こんちえると・島中ギターマンドリン部
済美高校ブラスアンサンブル部
ダンス・仲間の主張・うたなど…

お問い合わせ先

いぶきふれあいまつり実行委員会事務局(いぶき内)
☎058-233-7445 担当:古田

主催:いぶきふれあいまつり実行委員会

後援:岐阜市・岐阜市教育委員会・岐阜県社会福祉協議会・岐阜市社会福祉協議会

いぶき福祉会後援会はイエローレシートに参加しています。

毎月11日はイオン・デーは、幸せの黄色いレシートの日

対象店:マーサ21、マックスバリュ岐阜元町店

毎月11日、お買物時に発行される黄色いレシートを「いぶき福祉会後援会」のボックスにご投函下さいますと、レシート合計額1%相当分のお買い物券が、寄付されます。ご協力お願いいたします。

じぶんの買い物でだれかを幸せにするしくみ。

幸せの黄色いレシート

あなたが応援したい団体を選んでレシートをご投函いただくと、お買上レシート金額合計の1%と同額の品物をその団体に寄贈します。



4月から、2名の職員が
加わりました。
よろしくお願いいたします。

いぶき福祉会
2018年度
新人職員紹介



情報掲示板



哀悼と感謝の思いを込めて

平成30年3月12日6時24分、第二いぶきを利用されていた鷺見哲郎さんが享年58歳にて永眠されました。訃報の知らせうけてご自宅を訪問すると、今にも笑い声が聞こえてきそうな優しい笑顔で眠る哲郎さんがおられました。苦しむことなく、穏やかな最期を迎えられたとご家族から伺いました。

哲郎さんの笑顔には、一緒にいるだけでこちらも自然と笑ってしまう、そんな魅力がありました。葬儀の際、哲郎さんの遺影を指さし、こらぼの仲間がぼつりと「哲郎さん 大好き」と言いました。仲間や職員におでこがくつつきそうなほど顔を寄せ、「ふふふ」ととろけそうな笑顔を見せてくれる、そんな哲郎さんのことが本当にみんな大好きでした。43歳でいぶきを利用開始するまで、家族以外と関わるのがほとんどなかった哲郎さんにとって、これまでの道のりは決して平坦なものではなかったと思います。不安いっぱいの中でいぶきに足を一步踏みだし、長い年月をかけて少しずつ人となりが、心寄せられる存在と安心できる場所を広げてこられました。その裏にある哲郎さんの頑張り、私たちは勇気づけられ元気をもらってきました。

哲郎さんの旅立ちの際、棺の中には仲間からの手紙や絵、これまで取り組みでつくった創作物、出勤するときにいつもかけていたカバン等、いぶきでの思い出がいっぱい納められていました。哲郎さんのお姉さんが「哲郎は良い人に恵まれ、幸せ一杯お土産をもらって逝きました」とお話をされていましたが、私たちこそ哲郎さんからたくさん大切なものをいただきました。哲郎さん、そしてご家族の皆様、出会えてよかったと心から感謝しています。ありがとうございました。

哲郎さん、みんなのことをこれまで通り見守っててくださいね。また逢う日まで、さようなら。

第二いぶき 大堀 愛子

後援会員への新規加入・更新をよろしくお願い致します

年会費 一般会員…1口 2,000円
団体会員…1口 10,000円

振込先 郵便振替 00840=3=91146
加入者名 いぶき福祉会後援会

お問合せ いぶき福祉会後援会事務局

TEL058-233-7445 FAX058-232-9140 E-Mail ibuki@alto.ocn.ne.jp (タイトルに後援会員と入れて下さい)

インターネット入会

いぶき福祉会canpan決済
<http://kessai.canpan.info/org/ibuki/>



JR岐阜駅の「ねこの約束」でもお手続きいただけます。



編集後記

◆ 中学校の理科の問題に「氷が溶けると(〇〇)になる」という設題があります。正解は言わずもがな(水)ですが、「氷が溶けると(春)になる」という答えもあります。これも正解とする器量のある先生はいらっしゃいますか? ◆ 「国民の理解を保ちつつ、柔軟性をもって不断の検証と見直しを行い、段階的にかつ着実に実行していく」。いわゆる霞が関文学と揶揄されている文です。◆ 「文明はあらゆる個性を発達せしむる。その後あらゆる方法で個性を踏みつけようとする」(夏目漱石のことば)

編集委員長 林守男